

れい わ ね ん ど だい かい た ぶ ん か き ょ う せ い す い し ん い い ん かい ぎ じ ろ く
令和4年度 第1回 多文化共生推進委員会 (議事録)

1. 日時 令和4年(2022年)12月20日 9:30~11:00

2. 場所 甲賀市役所 会議室301

3. 内容 ・ 委嘱状交付

・ 委員会の設置目的及び所掌事務について

・ 委員長、副委員長の選任について

・ 議事(1) 会議の公開について

(2) 第2次多文化共生推進計画について

(3) 外国人市民の現状について

(4) 令和4・5年度の取り組みについて

・ その他

4. 出席委員 上原 ジャンカルロ 委員、大河原 佳子 委員、グエン ティ オアン 委員、

坂本 正太郎 委員、則安 宏 委員、浜田 麻里 委員、原田 千晶 委員、

山下 由行 委員 (五十音順)

5. 議事内容 別紙のとおり

べっし　ぎ　じ　ないよう
《別紙：議事内容》

かいかい
1. 開会

かつあい
(※割愛)

いしよくじょうこうふ
2. 委嘱状交付

かつあい
(※割愛)

3. あいさつ

しちょう
○市長

こう　かし　ぎいじゅう　がいこくじん　せんにな　こ　きんねん
甲賀市在住の外国人は4千人を超え、近年では、ベトナム、インドネシア、ネパールの方が
そうか　たよう　か　ち　かん　う　い　じゅうよう
増加している。多様な価値観を受け入れていくことが重要。また、ウィズコロナ・アフターコ
ロナの観点から、ほんし　じゅうてんてき　と　く　ほうこう　けんとうたまわ
本市が重点的に取り組むべき方向について検討賜りたい。

じ　こ　しょうかい
4. 自己紹介

かつあい
(※割愛)

いいんかい　せつ　ちもくてきおよ　しよしょう　じ　む
5. 委員会の設置目的及び所掌事務について

うえはらい　いん
○上原委員

いいんかい　たんにん　じ　む　ちようさ
(委員会が担任する事務の) 調査とはどこまでをイメージしているのか。

じむきよく
○事務局

じむきよく　いろいろ　き　かいとう　ひつよう　ちようさじ　こう　ていあん
事務局から色々お聞きして回答いただくことも、必要な調査事項があればご提案いただくこと
ちようさ　ひろ　ちようさ　ていぎ
も調査である。広く調査というものを定義している。

6. 委員長、副委員長の選任について

いいんちよう ふくいんちよう せんにな
委員長に浜田委員、副委員長に山下委員を選任

7. 議事

(1) 会議の公開について

はまだいいんちよう
○浜田委員長

ぼうちようしゃ じぜん し かのう
傍聴者を事前に知ることは可能か。

じむきよく
○事務局

じぜん ぼうちよう もう こ かた し かのう
事前に傍聴の申し込みをされた方についてお知らせすることは可能。

はまだいいんちよう
○浜田委員長

かいぎ げんそくこうかい ぼうちよう ぎじろく こうかい はつげん ようやく だれ はつげん
会議は原則公開。傍聴、議事録も公開。発言については、要約のうえで、誰の発言かわかる
ようなまえ ふ ぎじろくこうかいまえ いいん いちどかくにん
よう名前を付す。議事録公開前に委員で一度確認する。

のりやすいいん
○則安委員

たちば きさい
それぞれの立場についての記載はどうするのか。

はまだいいんちよう
○浜田委員長

ぎじろく なまえ きさい たちば わ しりょう めいぼ けいさい
議事録には名前のみ記載する。立場が分かる資料として名簿を掲載している。

じむきよく
○事務局

かいぎ こうかい ぎじろく こうかい いいん みな たちば せきにん も はつげん
会議の公開、議事録の公開をすることで、委員の皆さんそれぞれの立場で責任を持った発言を
しゅし なまえ ふ こうかい
することが趣旨にある。そのために、名前を付したうえでの公開をしている。

のりやすいいん
○則安委員

ぎょうせいきろく のこ はつげん
行政記録としては残さないような発言はできるのか。

じむきょく
○事務局

じゅうかつぱつ ぎろん こじん じょうほう あつか ばあい はつげん じこう
自由活発な議論がベースなので、個人の情報を扱う場合など、発言しづらい事項があれば
きろく のこ かのう ぼうちょう かた いしき なか はつげん
記録として残さないことも可能。ただ、傍聴の方がいるというのを意識した中での発言になる
おも ばあい そうだんねが
と思うので、その場合は相談願いたい。

だい じ た ぶん かきょうせいすいしんけいかく (2) 第2次多文化共生推進計画について

うへはらいいん
○上原委員

いいんかい はつげん けいかく へんこう えいきょう あた すいしん しんぎ
この委員会での発言が計画の変更に影響を与えることはあるか。推進については、審議する
ということによいか。

じむきょく
○事務局

だい じ た ぶん かきょうせいすいしんけいかく もと ちょうないぜんたい ていどすす ほうこく
第2次多文化共生推進計画に基づいて、庁内全体でどの程度進んでいるかということを報告
し、それに対して委員の皆さんから意見をいただくことだと考えている。

けいかく へんこう げんじょう あ いけん けいかく いちぶ みなお
計画の変更については、現状に合っていないというご意見をいただいたら、計画の一部を見直
すこともある。

おおかわらいいん
○大河原委員

か と く かだい じかい かいぎ さくせい
それぞれの課でこういった取り組み、課題があるか、次回の会議までに作成してほしい。

じむきょく
○事務局

じかい じゅんび
次回までに準備する。

やましたふくいんちよう
○山下副委員長

けいかく しさく ないよう とう あ しんちよくじようきよう み いけん
計画の施策について、その内容がどれくらいできているのか、それぞれの項目で具体的な数値等を上げてほしい。進捗状況を見えるようにしてもらうことで、意見がしやすい。

じむきよく
○事務局

かくか と く き と ほんいいんかい ほうこく
各課でどのような取り組みをしているのか聞き取りをしたうえで、本委員会で報告する。

はまだいいんちよう
○浜田委員長

ほか しめ しめ
その他についてもデータで示すことができるのであれば、示していただきたい。

のりやすいいん
○則安委員

もくてき かず ふ か
目的は数を増やすことではなく、それによってどのように変わったのかということ。どのように変わったのかを知るために、ねん かい がいこくじんじゅうみん じっし ぎろん ふか
年に1回、外国人住民にアンケートを実施することで議論が深まるのではないかな。

じむきよく
○事務局

すうじ あ じっかん ともな しゃくしょ しさく おうおう まんぞくど
数字だけが上がって実感が伴っていないケースが市役所の施策では往々にしてある。満足度を上げるためにはどうすればよいか、ぎょうせい ぎょうせい けんしき しんちよく
行政だけではなく、皆さんの見識をいただきながら進捗管理をしていきたい。

のりやすいいん
○則安委員

にほんじん だいじ にほんじん いしき へんか
日本人にもアンケートをとることは大事。日本人のグローバル意識がどう変化しているのかをし
知ること大切だと思う。

けいかく たぶん かきようせいすいしんいいんかい ちょうないたぶん かきようせいすいしん ごうどうかいぎ
計画の2ページにある、多文化共生推進委員会と市内多文化共生推進チームとの合同会議
ねん かいかいさい いいんかい べつ かいぎ かいさい
を年に2・3回開催とするとあるが、この委員会とは別に会議が開催されるのか。

じむきよく
○事務局

市役所の現在の取り組みを担当課から直接報告してもらいながら、意見交換ができるための場として合同会議を進めていきたい。

のりやすいん
○則安委員

このメンバーが出席することによってよろしいか。

じむきょく
○事務局

ほんいいんかい みな たんとうか しょくいん いけんこうかん そうてい
本委員会の皆さんと担当課の職員との意見交換を想定している。

けいかく　ねん　かい　か　かいすう　じ　ゆう　い　けん　こう　かん
計画では年に2・3回と書いているが、回数についてはこだわらず、自由に意見交換できるよ
うな場になればよいと考えている。

はらだいいん
○原田委員

けいかく たぶん かきようせい げんじょう かだい み がいこくじんじんこう ふ こくせき たようか みう
計画3 ページの多文化共生の現状と課題を見ると、外国人人口が増え、国籍の多様化が見受
けられるが、いま こうかし す がいこく かた もんだい かか
今まで甲賀市に住む外国の方たちがどのような問題を抱えていたのかわかるよう
なデータはあるのか。

また、年代によっても抱える問題は違う。計画を作るときに、そういう現状にある問題に
 着眼点を置いて作ったのか。

じむきよく
○事務局

けいかく さくせい げんじょう ぶんせき さくせい げんじょう はあく
計画を作成するとき、現 状の分析をしたうえで作成している。ただ、すべての現 状を把握
むずか
することはなかなか 難 しい。

が い こ く じ ん か た か だ い も ん だ い あ け い か く じ ゅ う な ん た い お う ば あ い け い か く
外国人の方の課題や問題に合わせながら、この計画は柔軟に対応する。場合によっては計画

あ か た か ん が ひ つ よ う か ん が わ た し げ ん じ ゅ う か い け つ か ん が
の在り方について考えることも必要だと考えている。私たちも現状の解決について考えて

い い い ん み な い け ん さ い わ
いるが、委員の皆さんにもご意見いただけると幸いである。

はらだいいん
○原田委員

なんべい かた にっけいしゃかい なか そだ かた おお にほんぶんか はあく かた
南米の方たちは、日系社会の中で育ってきた方たちが多いので、日本文化を把握されている方
おお おも ぎやく いま かた ふ ぼこく ふつう にほん
が多いと思う。逆に、今アジアの方も増えてきていて、母国では普通にできたことが、日本で
できないことがあることををしらない。そういった中で、市として計画の中で日本語を教えるこ
とに加え、甲賀市（日本）で住むことに対して何ができて何ができないか、ということを盛り込
んでもよいと思う。

じむきょく
○事務局

けいかく も こ げんじつてき むずか おも いま いけん じゅうぶん こんごはんえい
この計画にすぐに盛り込むことは現実的に難しいと思う。今のご意見は十分に今後反映させ
ていきたい。

おおさか そうりょうじかん れんけい かんけいき かん れんけい げんじょう ふ
また、大阪のベトナム総領事館との連携をするなど、関係機関と連携して現状を踏まえなが
ら事業・施策をかんがえていきたい。

のりやすいいん
○則安委員

ざいりゅうしかくべつ ほか なに ざいりゅうしかく ふく
5 ページある在留資格別について、その他には何の在留資格が含まれているのか。

じむきょく
○事務局

ぎじゅつ じんぶんちしき こくさいぎょうむ かぞくたいざい おお し かんが しりょう さんこう
技術・人文知識・国際業務と家族滞在が多くを占めていると考えられる。（資料1 参考）

はまだいいんちょう
○浜田委員長

ぎじゅつ じんぶんちしき こくさいぎょうむ かぞく よ よ かぞく かぞくたいざい ざいりゅうしかく
技術・人文知識・国際業務が家族を呼び寄せると、その家族は家族滞在の在留資格になる。
はいぐうしゃ かた にほんご べんきょう えいごけん かた こんご
配偶者の方は、あまり日本語を勉強していないうえ英語圏でない方がほとんどであるため、今後
ますますバックアップ体制がたいせひつようになる。

のりやすいいん
○則安委員

パートナーの一人は会社で働いているが、もう一方の方は働いていない。そうすると、働いていない方の方は何をしていいかわからなかったりする。そうするとやはり、コミュニティに参加できるような機会や言葉の支援が必要となる。

うえはらいいん
○上原委員

家族滞在について、特別な許可を得て週28時間以内の労働は可能だが、それを理解できていない人もいる。

ごみの分別についても、新たな国籍の方の増加で再び問題になっている。このことに対して、愛知県豊田市ではウェルカムパックを市役所で渡している。ウェルカムパックではごみの分別などが多言語化されていて、転入者数名を集めて説明会も行っている。これを参考にされるとよい。また、地域文化も含めたり、外国の視点を入れた資料作成が必要。

また、25ページの多文化理解のための研修の実施について、年4回とあるが、回数を増やすことも重要だが、ライフステージに応じた多文化共生の意識醸成が必要である。

じむきょく
○事務局

母国では当たり前だが、日本ではできないこととは、どのようなケースが想定されるか。

うえはらいいん
○上原委員

野生動物の取り扱いに関し、日本での決まりを知らなかったとの声は聞く。

はらだいいん
○原田委員

日本では資格が必要な事業もある。各国での習慣や、日本ではやってはいけないことを洗い出してもよいと思う。

はまだいいんちよう
○浜田委員長

ベトナムと日本で制度が大きく異なることはあるか。

○グエン委員

資格制度に違いがある。改めて取得しようとするとは非常に難しい。また、ごみの分別のこと。

ベトナムでは分別は必要ないが、日本では分別が細かくて難しい。

これから甲賀市に来る外国人に、ごみの分別の仕方を教えられるようなことをしたらよいと思う。

○浜田委員長

以前ごみの分別の仕方を説明する YouTube の動画があったので、ベトナム語での動画作成を

して転入してきたベトナムの人に見てもらうこともよいかもしれない。

(3) 外国人市民の現状について

(※事務局からの説明のみであったため割愛)

(4) 令和4・5年度の取り組みについて

○大河原委員

資料2の③について、国際交流協会との連携強化と打ち出すのではなく、多文化共生をよ

り推進するための体制整備のほうが良いのではないかと。目的は多文化共生の推進であり、

国際交流協会との連携は一つの手法だと思う。

○事務局

多文化共生を推進するうえで国際交流協会との連携が外せないということでこのような書

き方をさせていただいた。ご理解いただきたい。

やましたふくいいんちよう
○山下副委員長

おおかわらいいん はつげん し と く ねんとう こくさいこうりゅうきょうかい せっきよくてき
大河原委員の発言のとおり、市の取り組みということを念頭に、国際交流協会も積極的に
かか
関わりたい。

じむきよく
○事務局

たぶんかきようせい すいしん ぎようせい にな た た おも ぎようせい
多文化共生を推進するうえで行政が担うことは多々あると思う。ただ、行政だけではでき
ないこともたくさんあるので、行政と皆さんがすることを明確にしながら推進していきたい。

のりやすいいん
○則安委員

がいこくじん げんじよう れいわ ねんど と く た つ げんじよう せいかしひよう ぎろん
外国人の現状と令和4・5年度の取り組みとの立て付けがわからない。現状の成果指標の議論
べつ かいぎ おこな かいぎ じ き かいすう
は別の会議で行うのか。会議の時期や回数もわからない。

じむきよく
○事務局

こんかい はじ かいぎ けいかく ほうこく こんねんどちゅう
今回は初めての会議ということで、計画をはじめとした報告をさせていただいた。今年度中
にもう一度本会議を開催したい。その中で、成果指標に基づいて実施した事業の報告をしたい。

うえはらいいん
○上原委員

こ にほんごしょきしどう きんねんがいこくじん さんざいか み う きょうしつ かよ
子どもの日本語初期指導について、近年外国人の散在化が見受けられることから、教室に通
えない子どもがいる。このような状況があるのであれば、甲賀市だけで対応しようとするので
はなく、さまざまなアプリを活用してタブレットで指導をしてはどうか。

じょうほうはっしん かん ぶあつ ぶんしょ ほんやく つた
情報発信に関して、分厚い文書をすべて翻訳したからといって、それがきちんと伝わってい
るかが重要。市役所の翻訳だと、原文も併記されているので、何が重要な情報かわからない。
さいきん じょうほうしゅうしゅう しかた どうが じょうほうていきよう しゅほう おも
最近の情報収集の仕方はSNSがメインである。動画での情報提供はよい手法だと思う。せ
っかく ほんやく ぶんしょ よ て とど
っかく翻訳した文書が読み手に届かないことはもったいない。

のりやすいいん
○則安委員

わたし かいしゃ どうが つく にほんじん ふく ぶんしょう よ
私の会社でもマニュアル動画を作っている。日本人も含め文章を読まなくなっているの
で、SNSからのアプローチは良いと思う。

じむきょく
○事務局

にほんじん がいこくじん じちかい かにゅうりつ ていか くわ か たいめん
日本人も外国人も自治会の加入率が低下している。それに加えてコロナ禍で対面でのコミュニ
ケーションが難しくなっている。そういった中で当然文書でのマニュアルでは伝わらない。
あたら せいかつようしき いしき しゅりゅう げんてん かえ
新しい生活様式を意識しながらのコミュニケーションが主流になっているが、原点に返って
はなし あ じゅうよう く じちかい ひつようせい と みなお なか
話し合うことも重要であるとして、区・自治会の必要性が問われている。見直す中で、コミュ
ニティの再構築が必要だと思う。その中で、坂本委員が地域で外国人の方と様々なことをされて
いるので、何か知見をいただきたい。

さかもといいん
○坂本委員

こうどう ちく ひと ちい ひろ かつよう
行動をするのは地区の人であり、小さいところから広がっていく。タブレットを活用したいが、
なかなかうまく扱えない地域もある。周知方法で、最初は紙で配布するだけだったが、直接私
が行くことでより伝わり一番早いということがある。自分の地区でつながりを見つけると、色々
な人のことがわかるようになり、それが大きくなっていく。一緒になってやってくれる人を作る
ということで、一番小さな区から広げていくのがいいかなと思う。

おおかわらいいん
○大河原委員

たんとうか こくさいこうりゅうきょうかい なに ちいき なか たぶん かきょうせい いしき も
担当課や国際交流協会だけが何かをするのではなく、地域の中で多文化共生の意識を持っ
た人が増えることで、多文化共生の社会を実現できる。

た
8. その他

○事務局

じかい かいぎ ねん がつ かいさい よてい
次回の会議は、2023年3月の開催を予定している。

9. 閉会^{へいかい}

(※割愛^{かつあい})

以上^{いじょう}